

資料 2

参考資料

令和 5 年 2 月 22 日

総務消防常任委員会

消防局 総務課

鳥取県西部広域行政管理組合 個別施設計画

行政系施設(消防施設)

令和 3 年 2 月

鳥取県西部広域行政管理組合

消防局



令和元年8月に策定した「鳥取県西部広域行政管理組合公共施設等総合管理計画」に基づき、対象となる消防施設(消防局・署所等)の個別施設計画を策定する。

1 対象施設

個別施設計画の策定は11施設を対象とする。(築年数順)

※築年数は令和2年7月基準で算出

消防施設一覧								
	施設名	築年度	築年数	構造	建物総延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	耐震診断	耐震補強
①	大山消防署	1976	44	鉄筋コンクリート 一部鉄骨 2階建	503.50	1,000	実施済	不要
②	江府消防署	1976	44	鉄筋コンクリート 一部鉄骨 2階建	550.09	1,000	実施済	実施済
③	生山出張所	1977	43	鉄筋コンクリート 平屋建	229.70	800	実施済	実施済
④	弓浜出張所	1977	43	鉄筋コンクリート 平屋建	251.88	500	実施済	不要
⑤	伯耆出張所	1977	43	鉄筋コンクリート 平屋建	281.67	600	実施済	不要
⑥	南部出張所	1977	43	鉄筋コンクリート 平屋建	285.81	600	実施済	不要
⑦	生山寮	1977	43	鉄筋コンクリート 平屋建	107.00	50	不要	不要
⑧	中山出張所	1985	35	鉄筋コンクリート 一部鉄骨 平屋建	330.29	600	不要	不要
⑨	吉峰山無線 中継所	1993	27	鉄骨造 平屋建	28.73	365	不要	不要
⑩	消防局 ・訓練棟等含む	1993	27	鉄骨鉄筋 コンクリート 6階建	4,812.90	6,758	不要	不要
⑪	皆生出張所	2017	3	鉄骨造 2階建	1,320.35	3,113	不要	不要

※米子消防署(米子市普通財産)及び境港消防署(境港市行政財産)を除く11施設とする。

2 計画期間

令和3年度から概ね令和10年度までとし、5年ごとに策定する消防力等整備5ヶ年計画にあわせて適宜、計画を見直すこととする。

3 対策方針

消防施設の半数以上が築年数40年を経過していることから、築年数と劣化度状況等を考察しながら計画的に長寿命化を図っていくこととし、併せて大山消防署及び江府消防署は、消防庁舎の施設整備として女性用施設の整備、仮眠室の個室化、装備室の屋内化を計画し図っていくこととする。

4 個別施設の状態等

(1) 評価方法

- ア 「平成30年度実施の消防庁舎劣化度調査」「令和元年度消防職場安全巡視点検」に基づき評価。
※ 大山消防署、江府消防署、南部出張所、伯耆出張所、弓浜出張所、生山出張所
イ 「令和元年度消防職場安全巡視点検」「本組合建築技師点検」に基づき評価。
※ 消防局、皆生出張所、中山出張所、生山寮
ウ 「令和元年度中継所巡視点検」に基づき評価。
※ 古峰山無線中継所

(2) 劣化度合・評価

劣化度合	劣化の程度	評価
劣化無し	健全な状態	A
劣化小	特に修繕は必要としない程度の劣化	B
劣化中	部分的な改修・更新・修繕が想定される劣化	C
劣化大	全面的な改修・更新・修繕が想定される劣化	D

(3) 劣化状況・評価

各施設の劣化状況、評価については表1から表11のとおり。

5 劣化度順位について

築年数と各施設の劣化度合い評価を得点化し、劣化度の高い順位からランク付けしたもの。

(1) 築年数評価点

耐用年数と築年数に応じた評価値としたもの。

$$\text{築年数} \div 60 \text{ 年 (耐用年数)} \times 100 = \text{築年数評価点}$$

● 耐用年数

鉄骨鉄筋造（S RC造）・鉄筋コンクリート造（RC造）・鉄骨造（S造）：60年

※参考：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会1988）

(2) 劣化度評価点

各施設の劣化状況についての各表に記載している評価(ABCD)を点数化し、その合計を劣化度評価点とする。

劣化度合	評価	劣化度評価点
劣化無し	A	0点
劣化小	B	5点
劣化中	C	10点
劣化大	D	15点

(3) 総合評価得点

築年数評価点 + 劣化度評価点 = 総合評価得点とした各施設の状態は下表のとおり。

施設名	築年数	築年数 評価点	劣化度 評価点	総合評価 得点
大山消防署	44	73	55	128
江府消防署	44	73	45	118
南部出張所	43	71	40	111
生山寮	43	71	40	111
生山出張所	43	71	30	101
弓浜出張所	43	71	30	101
伯耆出張所	43	71	30	101
中山出張所	35	58	40	98
消防局(庁舎)	27	45	40	85
消防局(訓練棟)	27	45	35	80
古峰山無線中継所	27	45	0	45
皆生出張所	3	5	0	5

6 優先順位及び対策内容

各施設の内容における劣化度状況、機能性、必要整備状況等を総合的に検討した結果、今後の対策については次のとおりとする。

優先順位	施設名	対策内容
1	大山消防署	築年数が古く劣化の状況も進み且つ、庁舎内が狭隘であることから早急に大規模な改修が必要であり、併せて感染防止対策としての仮眠室の個室化、女性用施設の整備等、消防署に必要な環境を整備する必要がある。
2	江府消防署	築年数が古く劣化の状況も進み且つ、度重なる改修により玄関が別用途にされるなど消防庁舎としての機能が喪失していることから、早急に大規模な改修が必要である。併せて、感染防止対策としての仮眠室の個室化、女性用施設の整備等、消防署に必要な環境を整備する必要がある。 また、県が指定する土砂災害警戒区域（レッド区域）内であることから、移転や建替えも含めた対応を検討する必要がある。
3	南部出張所	築年数が古く劣化状況も進んでいるが、職員数に対して一定の面積が確保されていることから、劣化の状況に応じた改修とする。
4	生山出張所	築年数が古く劣化状況も進んでいるが、職員数に対して一定の面積が確保されていることから、劣化の状況に応じた改修とする。
4	弓浜出張所	築年数が古く劣化状況も進んでいるが、職員数に対して一定の面積が確保されていることから、劣化の状況に応じた改修とする。
4	伯耆出張所	築年数が古く劣化状況も進んでいるが、職員数に対して一定の面積が確保されていることから、劣化の状況に応じた改修とする。
7	中山出張所	築年数が古く劣化状況も進んでいるが、職員数に対して一定の面積が確保されていることから、劣化の状況に応じた改修とする。
8	消防局	庁舎の規模が大きく、費用も高額となることが予測される為、劣化度の高い箇所を個別に精査したうえでの改修が必要である。
9	古峰山無線中継所	必要に応じた修繕対応とする。
10	皆生出張所	現時点で課題等無し。
—	生山寮	現在、利用者は無く書庫、倉庫として使用。大規模改修については、消防庁舎を優先し修繕していく中で、在り方についての検討が必要である。

7 実施時期と概算費用について

別表のとおり

表 1

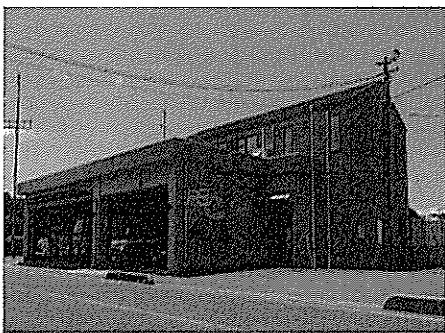
①	大山消防署			
	 			
評価	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部
	C	C	D	C
	アスファルト舗装の割れ有り	外壁劣化有り (クラック、浮き、はがれ)	・防水シートの弛み有り ・雨漏り箇所有り	仕上げの劣化、損傷有り (クラック、クロス割れ、タイル割れ)
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	C	A	A	A
	手すりなし	良好	良好	良好
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
	A	A	A	
	良好	良好	良好	
	現状と課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地地盤、庁舎外装及び内部の劣化が生じているため改修が必要。 ・雨漏り箇所が生じていることから防水対策が必要。 ・車両の大型化・資機材の高度化等により、車庫が狭隘状態となっている。 ・住民が使い易い庁舎とするためのバリアフリー化等の整備。 		
その他必要になる整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・女性用施設の整備 ・仮眠室の個室化 ・装備室の整備 			
主要履歴	<p>S51. 10 庁舎新築 ※鉄筋コンクリート造平屋建</p> <p>S58. 9 庁舎増築(17. 58m²)</p> <p>H4. 3 庁舎増築(消毒室6. 62m²)</p> <p>H12. 1 庁舎増築(S造342. 81m²) ※鉄骨造2階建 ホース乾燥塔の移設 自家発設備及び排気設備の設置 空調改修</p> <p>H15. 9 ホース乾燥塔補修</p> <p>H28. 1 空調改修工事(電気仕様)</p> <p>H29. 3 車庫庇取替工事</p>			

表2

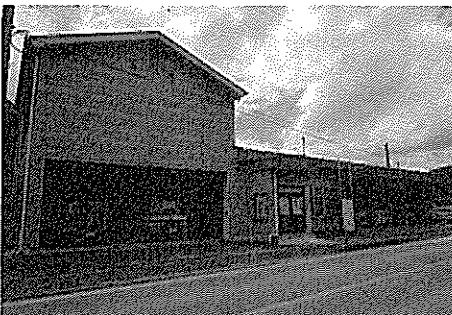
②	江府消防署			
	 			
評価	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部
	C	C	D	C
	アスファルト舗装の割れ有り	外壁劣化有り (クラック、浮き、はがれ、塗装剥離、シーリング劣化)	・防水シートの弛み有り ・トップコート剥離有り ・葺材の風化	仕上げの劣化、損傷有り (クラック、クロス割れ、タイル割れ)
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	A	A	A	A
	良好	良好	良好	良好
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
	A	A	A	
	良好	良好	良好	
	現状と課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地地盤、庁舎外装(防水シート含む)及び内部の劣化が生じているため改修が必要。 ・車両の大型化・資機材の高度化等により、車庫が狭隘状態となっている。 ・庁舎に玄関の設置が必要。 ・住民が使い易い庁舎とするためのパリアフリー化等の整備。 ・県が指定する土砂災害警戒区域(レッド区域)内であることから、移転や建替えも含めた対応を検討する必要がある。 		
その他必要になる整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・女性用施設の整備 ・仮眠室の個室化 ・装備室の整備 			
主要履歴	<p>S51. 10 庁舎新築 ※鉄筋コンクリート造平屋建 S58. 9 庁舎増築7. 20m² 倉庫新築9. 94m² H7. 10 下水道工事の切り替え H10. 11 庁舎増築(280. 70m²) ※鉄骨造2階建 H26. 3 庁舎(便所、廊下、食堂)改修工事、車庫新設、物干し場新設 H28. 1 空調改修工事(電気仕様)</p>			

表3

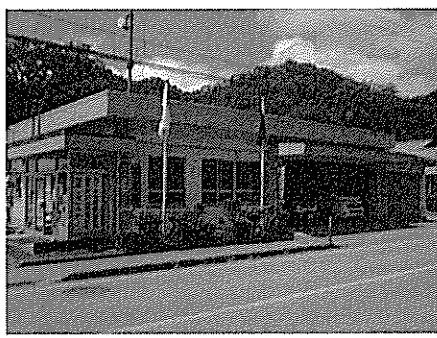
③	生山出張所			
	 			
評価	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部
	A	C	C	C
	良好	外壁劣化有り (クラック、浮き、シーリング劣化)	屋上面の劣化損傷による水たまり	仕上げの劣化、損傷有り (クラック、タイル浮き)
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	A	A	A	A
	良好	良好	良好	良好
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
	A	A	A	
	良好	良好	良好	
現状と課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁劣化、内部の劣化、防水シート部分剥離が生じているための改修が必要 			
その他必要になる整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仮眠室の個室化又は仕切り ・装備室の屋内化 			
主要履歴	<p>S52.7 庁舎新築 ※鉄筋コンクリート造平屋建 H2. 11 庁舎改裝 H7. 10 下水道切り替え H11. 10 トイレ修繕 H19. 9 ホース乾燥搭取替え工事 H25. 2 庁舎(事務所、更衣室、廊下、仮眠室、便所、厨房、脱衣場、浴室)の外装、内装 屋上防水シート改修建築工事 R元. 12 車庫耐震補強工事</p>			

表 4

(4)	弓浜出張所			
評価				
	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部
	A	C	C	C
	良好	外壁仕上げ材、躯体等に劣化有り (クラック、浮き、はがれ、塗装剥離、シーリング劣化)	・防水シートの剥離	仕上げの劣化、損傷有り (クラック、タイル浮き)
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	A	A	A	A
	良好	良好	良好	良好
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
	A	A	A	
	良好	良好	良好	
現状と課題及び方向性	・外壁劣化、内部の劣化、防水シート部分剥離が生じているための改修が必要。			
その他必要になる整備事業	・仮眠室の個室化又は仕切り ・装備室の屋内化			
主要履歴	S52.11 庁舎新築 ※鉄筋コンクリート造平屋建 H6. 9 消毒室増築・別棟車庫の増築 H19. 9 ホース乾燥搭取替え工事 H25. 2 庁舎(事務所、更衣室、廊下、仮眠室、便所、厨房、脱衣場、浴室) 外装、内装、屋上防水シート改修建築工事 H30. 3 車庫庇取替工事			

表5

⑤	伯耆出張所			
評価				
	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部
	A	C	C	C
	良好	外壁仕上げ材、躯体等に劣化有り (クラック、浮き、はがれ、塗装剥離、シーリング劣化)	・防水シートの剥離	仕上げの劣化、損傷有り (クラック、タイル浮き)
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	A	A	A	A
	良好	良好	良好	良好
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
	A	A	A	
	良好	良好	良好	
現状と課題及び方向性	・外壁劣化、内部の劣化、防水シート部分剥離が生じているための改修が必要。 ・車両の大型化・資機材の高度化等により、車庫が狭隘状態となっている。			
その他必要になる整備事業	・仮眠室の個室化又は仕切り ・装備室の屋内化			
主要履歴	S52.7 庁舎新築 ※鉄筋コンクリート造平屋建 H元. 10 庁舎増築(71.37m ²)及び内部改修 H元. 10 倉庫及び自転車置き場新築 H15. 3 車庫庇改修 H18 ホース乾燥搭取替え工事 H19 屋根防水補修、軒先補修、浴槽改修、屋外樹工事 H23. 12 庁舎(事務所、便所、更衣室、廊下、仮眠室、車庫、消毒室) 外装、内装、屋上防水シート改修建築工事			

表6

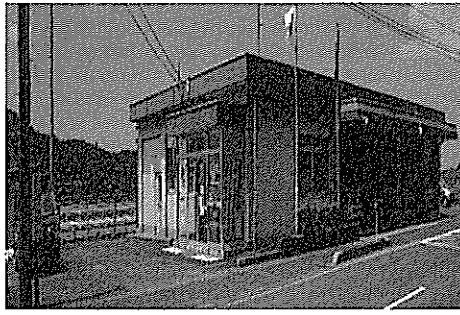
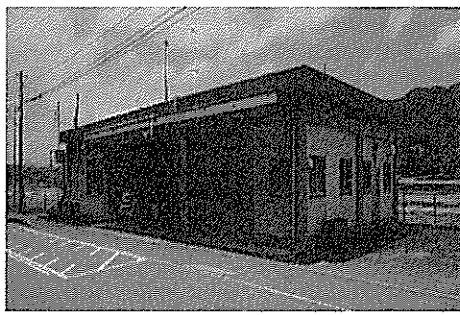
⑥	南部出張所			
	 			
評価	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部
	C	C	C	C
	・擁壁に段差有り ・擁壁に水抜き穴無し	外壁仕上げ材、躯体等に劣化有り (クラック、浮き、はがれ、塗装剥離、)	トップコート剥離	仕上げの劣化、損傷有り (クラック、タイル割れ)
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	A	A	A	A
	良好	良好	良好	良好
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
	A	A	A	
	良好	良好	良好	
現状と課題及び方向性	・外壁劣化、屋上及び屋根、内部の劣化が生じているため改修が必要。			
その他必要になる整備事業	・仮眠室の個室化又は仕切り ・装備室の屋内化			
主要履歴	S52.7 庁舎新築 ※鉄筋コンクリート造平屋建 H5. 11 増築(92. 58)、内部改修 H19. 9 ホース乾燥搭取替え工事 H19. 10. 3 玄関ドア修繕 H22. 2 屋上防水改修工事(全面) H23. 12 庁舎(便所、浴室、厨房、仮眠室、車庫、消毒室)外装、内装改修建築工事			

表 7

(7)	生山寮			
	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部
	C	C	C	C
評価	建物周辺地盤沈下 亀裂有り	外壁劣化 (亀裂有り、塗装剥離、)	防水施工修繕の必要 有り	内壁に亀裂有り 雨漏り有り
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
現状と課題及び方向性	◆現状、待機宿舎として使用していないため在り方について検討する必要がある。			
その他必要になる整備事業				
主要履歴	S52 新築 ※鉄筋コンクリート造平屋建			

表8

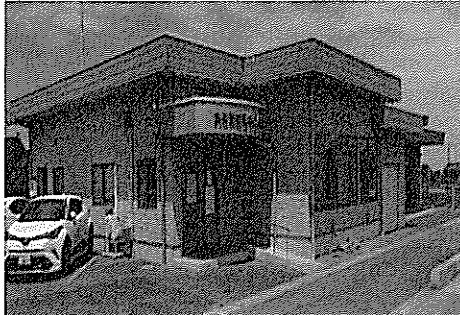
⑧	中山出張所			
評価	 			
	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部
	C	C	C	C
	・東側舗装箇所に亀裂有 ・フェンス劣化有り	・外壁塗装劣化 ・外壁亀裂有り	屋上モルタルに浮き有り	・仮眠室雨漏り ・厨房、風呂の内壁タイル浮き有り
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	A	A	A	A
	良好	良好	良好	良好
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
	A	A	A	
	良好	良好	良好	
現状と課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・雨漏りの原因は外壁塗装の劣化によるものと推測されるため改修が必要。 ・内部の劣化が生じているため改修が必要。 			
その他必要になる整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仮眠室の個室化又は仕切り 			
主要履歴	S52.7 庁舎新築 ※鉄筋コンクリート造平屋建 S60. 3 庁舎建替え(新築) 233. 57m ² 敷地:1, 136. 38m ² ※鉄筋コンクリート造平屋建 H8. 4 浴槽取替え、浴室修繕 H14 増築(79m ²)及び内部改修(全面) ※鉄骨造平屋建 H19. 9 ホース乾燥搭取替え工事			

表 9

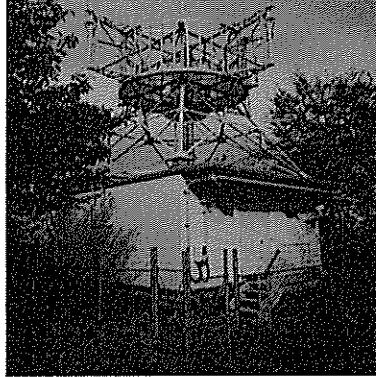
⑨	古峰山無線中継所						
							
評価	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部			
	A	A	A	A			
	良好	良好	良好	良好			
	照明器具	空調設備	保守用カメラ	自家用発電機			
	A	A	A	A			
	良好	良好	良好	良好			
	換気扇						
	A						
現状と課題及び方向性	良好						
	現状無し						
その他必要になる整備事業	現状無し						
	H5.3 庁舎新築 ※鉄骨造平屋建 H25.5 中継局舎雨漏り修繕 H26.9 中継局鉄塔塗装工事						

表10-1

(10)		消防局(庁舎)					
評価							
		敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部		
	C	C	C	C	C		
	・建物周辺地盤沈下 ・アスファルト舗装の 亀裂 ・フェンスの劣化	・外壁タイル、モルタル の浮き ・雨水用排水管の接続 部の劣化 ・ベランダ手摺劣化	・屋根塗装部分の劣化 ・防水シート劣化 ・屋上外壁クラック、シ ーリング劣化 ・玄関屋根の防水シー ト劣化	・床の割れ ・内壁クラック有り ・3階階段部分に雨漏 り有り			
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)			
	A	A	A	A			
	良好	良好	良好	良好			
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備				
	A	B	A				
	良好	受水槽配管劣化	良好				
現状と課題及 び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁劣化、屋上及び屋根、内部の劣化が生じているため改修が必要。 ・塩害防止として塗装等が必要。 ・扉、サッシ等が塩害による劣化があるため修繕が必要。 ・庁舎ベランダ手摺のガタつき有。 ・屋上に設置している鉄塔の塗装必要有り。 						
その他必要に なる整備事業							
主要履歴	H5.3 庁舎新築 ※鉄骨鉄筋コンクリート造6階建 H10.7 指令機械室空調機の部品交換 H10.9 指令機械室空調機のヒーター交換 H11.11 指令課機械室・無線機械室空調修繕 H18.7 無線鉄塔の修繕 H19 車庫オーバースライダー開閉不良修繕 H20 3階空調設備改修工事 H29 指令課女性用仮眠室整備建築工事 H30 自家用発電機改修工事 H30 2階空調改修工事(吸収式冷温水機から電気式) R元.10 大型車両用門扉修繕設置 R元.11 4階ベランダ手摺(一部)交換修繕 R2.2 4階空調改修工事(吸収式冷温水機から電気式)・4階ベランダ全手摺補強修繕						

表10-2

(10)	消防局（訓練棟）			
評価				
	敷地・地盤		建築物の外部	
	C	C	B	C
	・アスファルトに亀裂有り	・外壁にクラック、塗装剥離有り ・外壁に亀裂有り ・副訓練棟鉄骨部に錆有り	・クラック、塗装剥離有り	・雨漏り有り
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	A	A		
	良好	良好	無し	無し
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
		A	A	
	無し	良好	良好	
現状と課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄製ドアの錆有。 ・主訓練棟3階部分のロープ設定支持点と軸体接合部に亀裂有り。 訓練施設として安全管理上必要な箇所については隨時、修繕が必要。 ・副訓練棟鉄骨部の防錆修繕が必要。 ・外壁劣化、屋上及び屋根、内部の劣化が生じているため改修が必要。 			
その他必要になる整備事業				
主要履歴	H5.3 主訓練棟新築 ※鉄筋コンクリート造7階建 副訓練新築 ※鉄筋コンクリート造2階建 障害突破訓練棟新築 ※鉄骨造平屋建 放水棟新築 ※鉄筋コンクリート造平屋建 H19 副訓練棟給湯器取替え修繕			

表 11

(11)	皆生出張所			
評価				
	敷地・地盤	建築物の外部	屋上及び屋根	建築物の内部
	A	A	A	A
	良好	良好	良好	良好
	避難施設等	換気設備	非常照明器具	自家用発電装置 (予備電源・配線等)
	A	A	A	A
	良好	良好	良好	良好
	自家用発電装置	飲料用配管設備 排水設備	排水設備	
	A	A	A	
	良好	良好	良好	
現状と課題及び方向性	・現状、課題等は特に無いが、築10年を目途に防水・外装塗装等の長寿命化を図っていくことが必要になってくる。			
その他必要な整備事業				
主要履歴	H29.5 庁舎新築 ※鉄骨造2階建			



消防施設個別施設計画(別表)

単位(千円)

	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
消防局							設計業務 240,600	庁舎改修工事 1,203,000	
大山消防署	設計業務 24,027	庁舎改修工事 機能強化工事 248,570							
江府消防署			設計業務 126,200	移転・新築工事 631,000	庁舎解体工事 31,000				
皆生出張所				指令・無線設備等移設関係 9,400					
南部出張所		設計業務 14,330	庁舎改修工事 129,800						
伯耆出張所				指令・無線設備等移設関係 9,400	設計業務 14,080	庁舎改修工事 82,000			
弓浜出張所					指令・無線設備等移設関係 9,400	設計業務 12,500	庁舎改修工事 74,500		
指令・無線設備等移設関係 9,400									
中山出張所							設計業務 16,500	庁舎改修工事 94,100	
指令・無線設備等移設関係 9,400									
生山出張所						設計業務 11,400	庁舎改修工事 69,000		
指令・無線設備等移設関係 9,400									
生山寮							設計業務 5,300	改修工事 26,700	
古峰山無線 中継所							設計業務 1,400	改修工事 7,100	
合計	24,027	262,900	265,400	654,480	134,900	95,300	319,000	1,226,200	137,300

※工事費 大山消防署、江府消防署、南部出張所の工事費用については、本組合施設管理課が改修工事内容に基づき算出したもの。

他の庁舎改修工事費用は「公共施設等総合管理計画」に基づき、「建物総延床面積 × 公共建築物分類別更新単価(大規模改修25万円/m²)」により算出したもの。

※設計費 「公共施設等総合管理計画」に基づき、工事費の20%で算出したもの。

高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の更新に係る
整備方針について

1 全体事業の概要（別紙 1 参照）

消防指令センターは、消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センターで構築される。このうち消防本部や消防署、基地局の無線網を構築することを消防救急デジタル無線といい、PC 機器やソフトウェアにより各署所に指令等を送るものを高機能消防指令センターという。

現在、各事業で調達した機材について、経年劣化による機材の故障が頻繁に発生しており、今後、メーカーサポートが切れる中での運用は、故障リスクの増大を招き、安定稼働に支障をきたす恐れが充分に想定できる。このことを踏まえ、住民の生命、身体、財産を守る指令センターの安定した稼働を目的に、機器の使用年数が 14 年及び 10 年を経過する令和 6 年度に両事業を更新するものである。

2 整備方針の検討について

(1) 共同運用について

近隣消防本部に再度、聞き取りを行ったところ近隣 5 消防本部とも次期更新については、単独整備を行うとの回答であった。

(2) 共同調達について

各本部ともベンダーが異なることや、更新時期の違いから同時調達は困難であるとの回答であった。

【検討結果】

各本部及びベンダーへの聞き取りによると、本事業における共同運用、共同調達の実現は極めて困難な状況であると判断する。このことから、単独整備とする。

3 更新方法について

(1) 部分更新

既存機器をできる限り継続使用し、数か年（現状 5 ヶ年予定）に渡って部分的に機器に交換及びオーバーホールを行う方法である。

(2) 全面更新

既存機器のすべてを更新するものである。

項	メリット	デメリット
部分更新	<ul style="list-style-type: none"> 既存機器の継続使用することで費用削減できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存ベンダーでしか対応できない。 起債の時限措置期間を超過する。 補助金の配分対象外となる。 継続使用した機材の保守備品の欠品や修理費増大の恐れ
全面更新	<ul style="list-style-type: none"> 既存ベンダーに限定せず競争が可能 起債の時限措置、補助金の配分に制限がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての機材を更新するため、費用が増加する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・保障、保守が受けられるため安定稼働できる。 ・長期的に保守備品の対応が可能 	
--	---	--

【検討結果】

事業の公平性（競争性）、起債等による全体事業費の削減を柱に検討した結果、全面更新とする。

4 事業費（概算）について

(1) 消防救急デジタル無線の更新事業概算 748, 800 千円

※緊急防災減災事業債（充当率 100% 交付税算入率 70%）

(2) 高機能消防指令センターの更新事業概算 656, 200 千円

※防災対策事業債（充当率 75% 交付税算入率 30%）

5 事業調達に向けての課題

(1) 業務及びシステム分析

対象業務の実態把握、既存関連システムの精査、これらを分析・精査し適正な事業とする必要がある。

(2) 事業計画の作成と設計

当局内の要望及び事業の適正性を検討し、合理的かつ経済的な構築についての検討が必要である。

(3) 保守の適正価格

イニシャルコスト抑えたことによる、保守費用による取り戻し行為が発生する恐れがあるため、適正な精査が必要である。

(4) 工期について

半導体需要による機器納入の遅れもあり、専門的な知見からスケジュールの設定が必要である。

(5) 保守延長費の検討

スケジュールの設定次第で、保守延長費が発生するため、専門的な機関による保守延長の費用についても精査が必要となる。

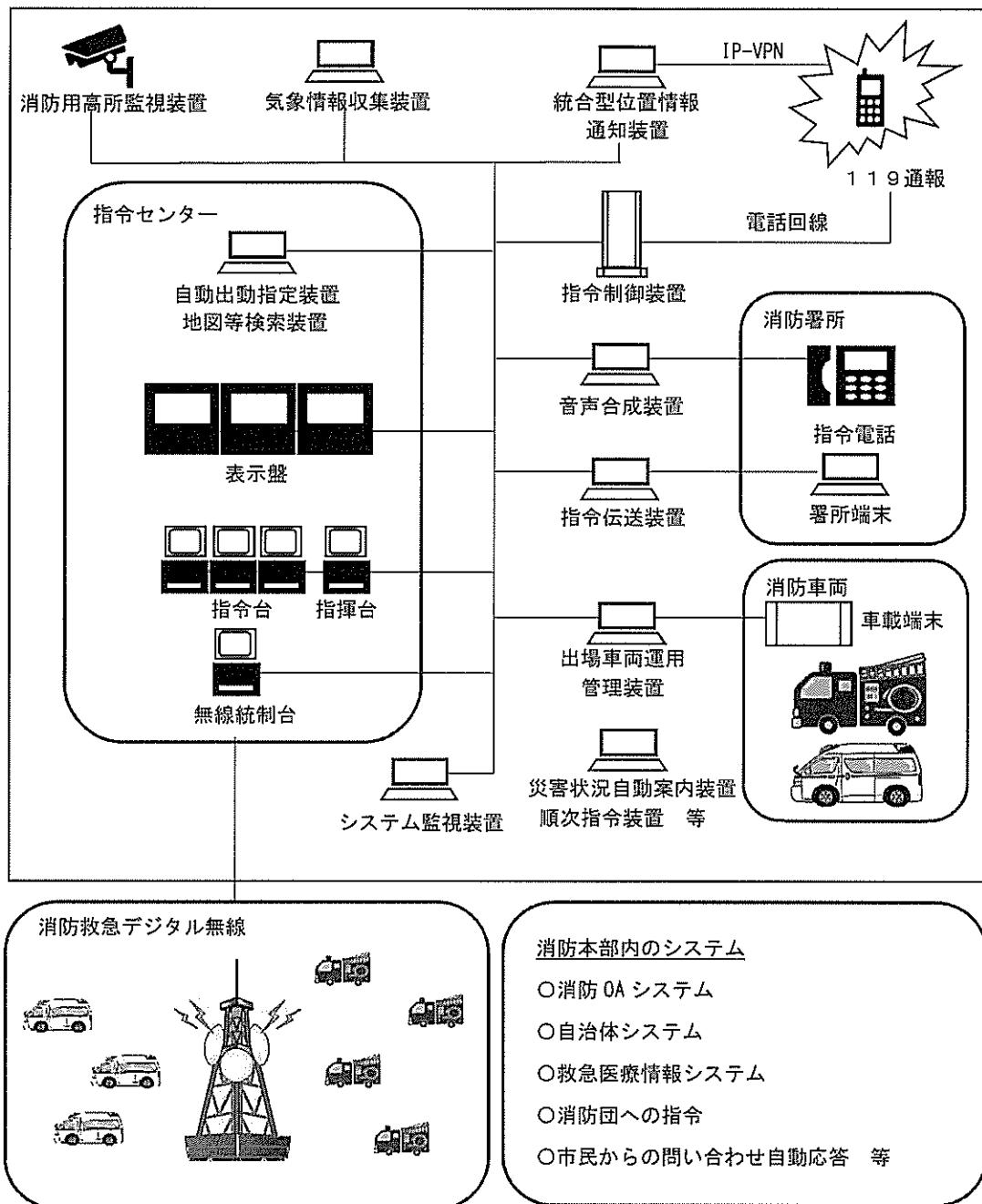
【まとめ】

本事業は、有利な起債の活用が可能な全面更新での整備方針とする。また、極めて専門的な知見が必要となる事業であることから、公平性の確保のため、コンサルタント事業者の調達を実施する。

6 今後のスケジュール

※別紙 2 参照

消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センター構成イメージ



高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線更新事業に係る整備方針

【事業方針】全体事業費の削減、適正な事業の継続、調達の公平性

※高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線を併せて、以下「指令システム」と呼ぶ

令和3年度

事業規模の確認

既存ベンダー協力による概算見積
コンサルタント業者から情報提供
事業方針の検討

令和4年度

事業方針の決定

プロポーザル方式による業者選考
候補者選考審査委員会の立ち上げ
業者選考基準の作成
調達支援業務の業者の仮選定
調達支援の仕様書の作成
コンサルタントの予算規模の確認
検討部会の設置
事業の概算見積の取得
複数コンサルタント業者から情報提供
事業方針の決定

令和5年度

調達支援及び構築支援コンサルタントの選定

業者決定
候補者選考委員会の開催
調達支援業務の開始
RFI実施・調達仕様書作成
評価基準検討・実施要領案等の作成

令和6年度

指令システム更新業者の決定・事業開始

詳細設計
機器製作・システム開発
構築支援業務
工程管理・検査支援
詳細設計監理
指令システム構築業務の選考支援等
構築支援業務の開始
完成検査
工程管理・検査支援
現地搬入・設置・調整

指令システム更新業者

構築支援コンサルタント

実施設計(案)

調達仕様書(案)
(要件定義書(案))
評価基準(案)
必要経費算出など
実施設計修正(案)
技術提案書作成支援
仕様書質疑応答など

情報提供

業務監理

構築支援

更新プロジェクト管理
更新プロジェクト支援
機材調達仕様書確認支援
調達仕様書精査など
各種業務監理
総合的な業務監理など